

インライン BA 付き自動造管ラインの導入

日本冶金工業株式会社のグループ会社であるナストア株式会社（ステンレス鋼溶接管、高性能材溶接管の製造・販売）は、同社茅ヶ崎製造所(神奈川県茅ヶ崎市萩園)にインライン BA^(※)付き自動造管ラインを導入いたします。

(※) BA : Bright Annealing (光輝焼鈍) の頭文字

1. インライン BA 付き自動造管ラインの概要

水素ガス雰囲気での熱処理が可能となる光輝焼鈍炉(BA)及び、溶接部冷間加工装置をライン内に有した連続自動造管機

- 対応サイズ：外径 $\phi 12 \sim 38.1\text{mm}$ 、肉厚 $0.5 \sim 3.3\text{mm}$ 、長さ $2.5 \sim 14.5\text{m}$
- 対象材質：ニッケル合金、二相ステンレス鋼、オーステナイトステンレス鋼 等

2. 導入の目的

高性能材溶接管(ニッケル合金、スーパーオーステナイト系ステンレス鋼、二相ステンレス鋼等)の競争力強化

- 納期短縮効果 : 15 日 $\sim$ 30 日の短縮
- 生産能力の増強 : 対応サイズの生産量増
- 製造可能範囲の拡大 : 小径 ($\phi 12.0 \sim 17.2\text{mm}$)、厚肉 ($3.1 \sim 3.3\text{mm}$)、長尺対応 ($12.1\text{m} \sim 14.5\text{m}$)
- 品質の向上(酸化が発生しない利点有り)
- CO₂ 排出量の削減

3. 製品(溶接管)の主な用途

カーボンニュートラル関連の燃料電池向け、薬品工場向け等の熱交換器用途が期待されます。

4. 稼働開始予定

2024 年 5 月

5. 投資額

約4億円

ナストアは高度化する顧客ニーズへの対応を進めるべく、設備の導入・改造を計画的に進め、生産基盤の維持・強化を図ってまいります。

